

ニッセイ M R F

(マネー・リザーブ・ファンド)

追加型公社債投資信託

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型公社債投資信託
信託期間	無期限
運用方針	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。
主要運用対象	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパー
分配方針	原則として、信託財産から生ずる利益の全額を毎日分配します。

ニッセイアセットマネジメントでは、お客様からの商品内容に関するお問い合わせや、資料のご請求などを、コールセンターで承っております。受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

☎ 0120-762-506

商品内容、運用状況、資産運用に関する情報などを、ホームページでご覧いただけます。

<http://www.nam.co.jp>

お客様の口座内容などに関するご照会は、お申込された販売会社にお尋ねください。

運用報告書

(平成16年11月30日～平成17年11月29日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ M R F (マネー・リザーブ・ファンド)」の上記期間中に行なわれました決算について、運用状況と分配金をまとめてご報告いたします。

今後とも是非ご継続頂き、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

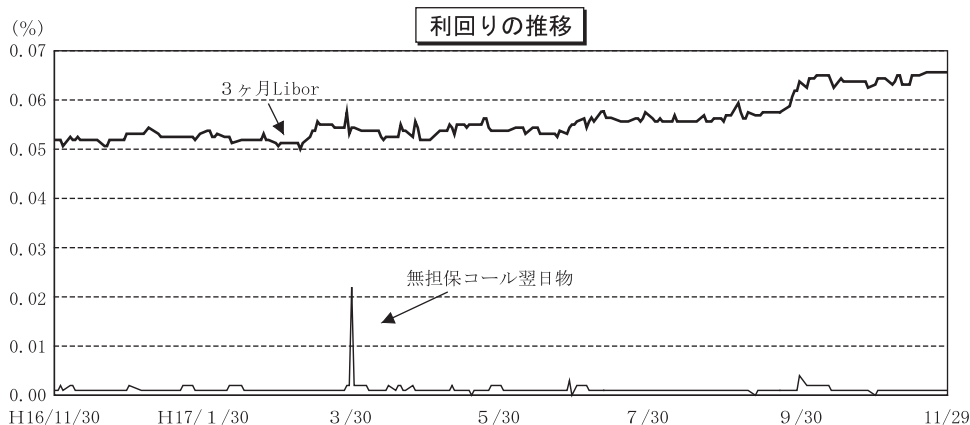


ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

運用の経過

(平成16年11月30日から平成17年11月29日まで)



【運用の環境】

この期間の短期金融市場は、日銀の量的金融緩和政策の下、低位での安定的な推移となりました。無担保コール翌日物加重平均金利は、年度末（平成17年3月31日）を除けば、0～0.002%での推移となりました。また、タム物の金利である3ヶ月Libor（ロンドン銀行間取引金利）も上下わずか0.02%程度と非常に狭い範囲での動きとなりました。ただ、期の後半に量的緩和政策の早期解除の思惑が高まると、金利はやや上昇し、その後も高止まっの推移となりました。

【当ファンドの運用実績】

期初の元本は42.3億円でしたが、この期間中、設定、解約金額がほぼ同金額だったため、期末時点の元本は42.4億円となりました。

この期間の運用につきましては、期初より短期金利が低位で推移しており、債券の購入によっても高い利回りの確保が困難だったため、期間の短い債券現先取引等で運用を行い、主に流動性の確保に努めました。

ただ、平成17年4月からのペイオフ完全解禁を控えた3月上旬や、量的金融緩和政策の早期解除の思惑が広がり長めの金利が上昇した11月には、債券現先取引の資金を一部債券購入に振り向けるなどにより、利回りの確保を図りました。

なお、安全性、流動性には特に配慮をし、組入対象は国債、政府短期証券のみとし、組入債券等の平均残存日数についても概ね1～40日程度とする運用を行いました（期末の平均残存日数は約24日）。

以上のような運用の結果、この期間の当ファンドの分配率（7日間の1日当たり平均、年換算利回り）は、期初の0.003%から一時0.004%まで上昇しましたが、その後は低下傾向となり、6月下旬から11月中旬にかけては0%となりました。ただ、期末にかけては再び上昇し、最後には0.003%となりました。

日々の分配金は、1万口当たり0銭から0銭2厘で推移し、平成16年11月30日から平成17年11月29日までの分配金合計は17銭8厘（年率0.00178%、税込み）となりました。

【運用方針】

当ファンドは、元本の安全性や資金の流動性を配慮した上で、内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行うことを基本方針としています。

今後も、元本の安全性や資金の流動性に十分注意を払いつつ、利回りの確保にも努めてまいります。ただ、これまで同様、割引短期国債や政府短期証券への投資を中心とし、信用リスクは極力排除する形で運用してまいります。

1万口当たり分配金 (平成16年11月30日～平成17年11月29日) のお知らせ

期 間	1 万 口 当 た り 分 配 金						非課税制度をご利用の方のお手取り額
	税 込 み	所 得 税	地 方 税	源泉税合計	お 手 取 り 額		
平成16年12月	0円02銭8厘	0円00銭4厘	0円00銭1厘	0円00銭5厘	0円02銭3厘	0円02銭8厘	
平成17年 1 月	0円02銭5厘	0円00銭3厘	0円00銭1厘	0円00銭4厘	0円02銭1厘	0円02銭5厘	
2 月	0円01銭6厘	0円00銭2厘	-	0円00銭2厘	0円01銭4厘	0円01銭6厘	
3 月	0円02銭1厘	0円00銭3厘	0円00銭1厘	0円00銭4厘	0円01銭7厘	0円02銭1厘	
4 月	0円02銭1厘	0円00銭3厘	0円00銭1厘	0円00銭4厘	0円01銭7厘	0円02銭1厘	
5 月	0円02銭5厘	0円00銭3厘	0円00銭1厘	0円00銭4厘	0円02銭1厘	0円02銭5厘	
6 月	0円01銭9厘	0円00銭2厘	-	0円00銭2厘	0円01銭7厘	0円01銭9厘	
7 月	0円00銭4厘	-	-	-	0円00銭4厘	0円00銭4厘	
8 月	0円00銭5厘	-	-	-	0円00銭5厘	0円00銭5厘	
9 月	0円00銭3厘	-	-	-	0円00銭3厘	0円00銭3厘	
10月	-	-	-	-	-	-	
11月	0円01銭1厘	0円00銭1厘	-	0円00銭1厘	0円01銭0厘	0円01銭1厘	

(注) 分配金は各月における前月最終営業日から当月最終営業日の前日までの累計です。

資産・負債・元本および基準価額の状況

(平成17年11月29日現在)

資 産 ・ 負 債 ・ 元 本 及 び 基 準 価 額 の 状 況											
資 産						合 計	負 債	純 資 産 総 額		元 本	1 万 口 当 た り 基 準 価 額
公 社 債		そ の 他 有 価 証 券		コ ー ル ・ ロ ー ン 等 そ の 他 資 産				外 貨 建 純 資 産 比 率	元 本		
金 額	比 率	金 額	比 率	金 額	比 率						
百万円 2,998	% 70.7	百万円 -	% -	百万円 1,245	% 29.3	百万円 4,244	百万円 0	百万円 4,244	% -	百万円 4,244	円 10,000

(注1) 金額の単位未満は切り捨てています。

(注2) 平成17年11月29日現在における平均残存日数は24日です。

(注3) 平成17年11月29日現在における次期繰越金は386円です。

(注4) 比率は投資信託財産総額(4,244百万円)に対する比率です。

(注5) 当ファンドの期首(前作成期末)の元本額は4,234,861,659円、当作成期間中の追加設定元本額は279,165,768円、一部解約元本額は269,576,308円です。

売買および損益の状況

(平成16年11月30日～平成17年11月29日)

組入 有 価 証 券 の 売 買 状 況				損 益 の 状 況		
買 付		売 付		運 用 損 益	信 託 報 酬 等	収 益 分 配 金
公 社 債	其 他 有 価 証 券	公 社 債	其 他 有 価 証 券			
百万円 624,282	百万円 -	百万円 621,683 (3,600)	百万円 -	千円 138	千円 62	千円 75

(注1) 公社債の買付・売付金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

(注3) 当作成期間における利害関係人との取引はありません。

(注4) 単位未満は切り捨てています。

組入有価証券明細表

(平成17年11月29日現在)

国内(邦貨建)公社債

区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率
	千円	千円	%
国 債 証 券	3,000,000	2,998,945	70.7
合 計	3,000,000	2,998,945	70.7

(注1) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 金額の単位未満は切り捨てています。

(国内公社債の内訳)

債券種別	銘 柄 名	利 率	償 還 年 月 日	額 面 金 額	評 価 額
国債証券	第385回 割引短期国債	%	2006/ 9 /20	千円 2,700,000	千円 2,699,082
	第388回 割引短期国債	-	2006/ 5 /15	200,000	199,970
	第389回 割引短期国債	-	2006/11/20	100,000	99,892
合 計		-	-	3,000,000	2,998,945

(注) 金額の単位未満は切り捨てています。

お知らせ

当期末現在の当ファンドの投資信託財産において、当ファンドの取扱販売会社であり、委託会社の主要株主である日本生命保険相互会社は、当ファンドの受益証券を4,007百万円(受益権口数4,007百万口、当ファンド全体の94.4%)保有しています。

当該保有分は日本生命保険相互会社により解約されることがあります。